

【小林市立東方小学校】

事業の実施時期：補助を受けた日から 令和5年 3月 31日

活動の概要

- 第4学年の社会科と総合的な学習の時間において、4Rの学びを行った。
- 第4学年の総合的な学習の時間において、東方・小林市の自然環境に関する学びを行った。
- 全校児童で、SDGsに関する学びを行い、各学年の発達段階に応じた活動、各委員会による活動を行った。

SDGsの視点：「11 住み続けられるまちづくりを」「12 つくる責任 つかう責任」「15 陸の豊かさを守ろう」「17 パートナースhipで目標を達成しよう」

1 学校の概要

本校は明治7年に開校し、令和6年度に開校150周年を迎える学校である。宮崎県西部の山間に位置する児童数111名の小規模校である。近隣に霧島連山を望むことができ、学校近くの河川には国の天然記念物（オオドカワゴロモ）が自生するなど、自然豊かな環境に囲まれている。過去には学校環境緑化推進校の指定を受け、県及び九州地区の学校環境緑化優秀校を受賞した。直近では、平成30年に県学校環境緑化表彰を受賞し、令和元年には緑と水の森林ファンダ学校環境緑化事業対象校に選定され、継続的に環境教育やリサイクル活動等に取り組んでいる。

2 活動のねらい

- ① 地域に関する環境問題に対して、自ら課題を発見し、今できることを計画する力を育成するとともに、4Rの実践を自ら進んで行う態度を育成する。
- ② 持続可能な社会の形成を目指して、調べた情報を収集・選択し、地域へと発信する力を育成する。

SDGsの視点：「11 住み続けられるまちづくりを」「12 つくる責任 つかう責任」「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさを守ろう」「17 パートナースhipで目標を達成しよう」

3 活動内容

- (1) SDGsに関する講演・研修
講師を招いて、SDGsの基礎を全校児童で学んだ。また、職員研修も行き、SDGsに取り組む心構えについて職員全員で共通理解を図った。
講師には、年度末にも来校していただき、学習発表会の参観や講評、また職員に対しての講話をしていただいた。
- (2) 地域のごみの現状に関する学習
第4学年の社会科の学習において、小林市の清掃工場やえびの市の美化センターの見学を行い、小林市のごみの現状を学んだ。小林市の細かなごみの分別の理由（リサイクルの向上、最終処分場の使用期間の延長）を学び、4Rの必要性について関心を高めた。
- (3) 4Rについての学習
第4学年の総合的な学習の時間において、4Rについてグループ学習を行った。4Rの基本的な知識を「ごみ減量化テキスト ごみ減量リサイクル4R」（宮崎県環境森林部循環社会推進課）で学び、児童それぞれが4Rレンジャーとして活動を始めた。学校の中にある4Rを探したり、学校でできる4Rに挑戦したりした。「残菜が出るのは苦手な食べ物を残してしまうから」という考えから、苦手な食べ物をおい

しく食べられるレシピ集を作成したり（リデュースチーム）、小林市の「ごみ分別虎の巻」を基にして、学校の実状に合った「東方小ごみ分別虎の巻」を作成したり（リサイクルチーム）するなど、4Rのそれぞれの趣旨を踏まえた「自分たちにできること」に取り組んだ。

また、埼玉県にあるリサイクル工場とオンラインで繋ぎ、工場見学を行った。普段自分たちが分別しているペットボトルや空き缶がどのように再生利用されているのかを見学でき、分別の大切さを学ぶことができた。

年度末には、4Rについて学習したことをタブレットPCでまとめ、保護者に向けて発表を行った。

なお、学習活動の様子は学校のホームページで随時紹介した。

- (4) 東方・小林市の自然環境に関する学習
第4学年の総合的な学習の時間に、東方・小林市の豊かな自然環境に関する学習を行った。宮崎県総合博物館の学芸員を講師に招き、小林市に自生している天然記念物のオオヨドカワゴロモについて話をいただいた。実際に自生地（岩瀬川）へ出かけ、実物を観察したり、保全活動を行ったりした。その際、新聞社やテレビ局、市の広報担当の取材を受け、活動内容を広めることができた。

自生地にごみが多く落ちていたことから、その上流にある東方からごみを流してはいけないと感じた児童らは、校区内のごみ拾いを計画・実施した。また、オオヨドカワゴロモについてもっと地域の方に知ってもらうために、新聞形式でリーフレットを作成し、回覧板を通じて配布を行った。

また、東方において、自然の保全活動を

行っている方に話を聞き、改めて東方の自然の豊かさを知ることができた。



オオヨドカワゴロモの自生地での活動

- (5) 委員会活動での取組

児童会では、使用済歯ブラシの回収やテープの巻き芯の回収を行い、リサイクルの必要性を全校児童に呼びかけた。また、環境委員会を中心に節電や節水の呼びかけを行い、省エネルギーに努めた。

4 成果と課題

【成果】

本やインターネットの情報を大切しながらも、「本物・実物に触れること」「その道のプロに話を聞くこと」「自分たちでやってみることを基本に、調べ学習や体験学習を行った。こうすることで、知識だけではなく、身を以って地球の環境を守る必要性や自分たちの未来への展望を考えることができた。

【課題】

第4学年以外の学年は、環境以外のそれぞれのテーマにおいて生活科や総合的な学習の時間にSDGsに関する活動を行った。だが、第4学年のテーマが「環境」であったため、環境教育の観点からすると、どうしても第4学年での活動が中心となってしまった。

学校名： 小林市立東方小学校

住所： 小林市東方3216番地

電話番号： 0984-23-3513

E-mail： 1406ea@miyazaki-c.ed.jp